ONE MUNAKATA
まちの課題解決プロジェクト

令和４年度
大学生の力によるまちの課題解決
プロジェクト（提案型）
～　募 集 要 項　～

国立大学法人九州大学

九州産業大学

公立大学法人福岡女子大学　　協働事業

九州共立大学

宗　像　市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

1　概要

この事業は、「大学の魅力向上」、「大学と協働したまちづくりの実践」を目的に、国立大学法人福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学及び宗像市が令和３年度から取組みを開始した協働事業です。

令和 4 年度は新たに、宗像市と大学連携協定を締結した国立大学法人九州大学、九州産業大学、公立大学法人福岡女子大学及び九州共立大学（以下「4 大学」という。）を加え、本事業を実施することといたしました。

それぞれの大学のノウハウや学生の力を活用し、まちの活性化や地域が抱える課題の解決に寄与する提案を広く募集します。

※この募集要項は 4 大学用です。国立大学法人福岡教育大学及び日本赤十字九州国際看護大学用の募集要項は別に定めます。

2　提案事業

（1）提案できる内容は、次のとおりです。

ア　宗像市内で実施される活動や調査・研究であること。

イ　様々な分野の事業を対象としますが、特に、それぞれの大学の特色や学生の力を活かしたテーマ（主テーマ・必須）及び市が課題や重点的項目として考える内容についてテーマ（副テーマ・任意）を設定し、事業の提案をお願いします。

※詳細は、最終ページの参考資料をご確認ください。

ウ　令和 3 年度に本事業で実施されたものと同一の内容や、宗像市内において既にボランティア活動（海岸清掃、寺子屋授業等）として行われている取組みと同一の内容は不可とします。ただし、大学の特色や新たな要素が付加された事業については対象とします。

（2）事業期間は、契約締結（６月予定）から令和５年３月３１日までです。

（3）他の委託料又は補助金の交付を受けている事業は、対象外とします。

（4）活動費及び採択事業数は以下のとおりです。ただし、募集の状況により採択数は変動することがあります。

活動費上限額（１事業当たり）	予定事業数
100,000 円	10 事業

3　提案者の資格

提案者の資格は、次のとおりです。

4 大学に在籍する教職員、学生又はこれらで構成するグループ

※「グループ」とは、学科、研究室、ゼミ、サークル等です。また、この事業のために構成するグループ（2 人以上）による提案や他大学との共同提案も可とします。

4　募集期間

提案の募集期間は、次のとおりです。

募　　集　　期　　間
令和４年４月２１日（木）～令和４年６月６日（月）

5　提出書類

（１）提案は、以下に定める様式（必要書類の添付を含む。）により行うものとします。なお、提出された全ての書類は、返還しませんのでご了承ください。

※提案書類は、宗像市個人情報保護条例及び宗像市情報公開条例の規定に基づき公開することがあります。

提出書類	備考
①　提案申請書（様式第１号）	団体名、連絡先、構成員数等を記入してください。
②　事業計画書 （様式第２号―１，２）	事業内容や期待される事業効果等を記入してください。別途、写真や図等による資料の提出を可とします。
③　収支計画書（様式第３号）	事業に要する収入及び支出の内訳を記入してください。 詳細は下記収支計画書の作成についてを確認してください。
④　中間報告書（様式第４号） （１２月頃提出）	業務の進捗状況を報告してください。 当初計画から変更があった場合は、事業計画書及び収支計画書の変更手続きが必要となる場合があります。
⑤　事業報告書（様式第５号） （事業完了後提出）	実施した事業の内容、成果、課題等を記入してください。 別途、写真や図等による資料を添付してください。

※上記書類のほか、成果発表会（令和５年２～３月予定）時に使用する資料の作成を別途お願いします。

（２）提出期限等は、次のとおりです。

ア　提出期限　　令和４年　６月６日（月）１７時必着

イ　提出書類　　上記①～③の書類

ウ　提出部数　　１部

エ　提出方法　　「①メールによる電子データ」、「②郵送又は持参による紙」のいずれかを提出してください。

オ　提 出 先　　ページ末尾の問い合わせ先

収支計画書の作成について

収支計画書は、下記の要領に基づいて作成してください。

※ 積算に際しては、人件費を含め、必要なすべての経費を計上してください。

【収入項目】	【収入区分】	【積算の記入方法】
① 活動費	活動費上限額 10 万円	10 万円以内で記入
② その他の収入	事業により予定される上記以外の収入	物販費、参加費等活動費以外の収入を予定する場合は記入
【支出項目】	【使途区分】	【積算の記入方法】
① 人件費	事業に参加するスタッフの人件費	※時給９００円（宗像市会計年度任用職員賃金額）を基準とし記入 ※９００円を超える場合は理由（資格あり等）を記入【人数×時間×単価】
② 報償費	外部講師に対する謝金等	謝金の目的別（講師謝金、原稿執筆謝金等）に記入【人数×回数×単価】
③ 旅費	事業に参加するスタッフ等の交通費、講師の会場までの交通費等	※目的地までの最短の公共交通機関を用いた金額で算定 ※旅費の目的別（会議出席、講師交通費等）に記入【人数×回数×単価】
④ 消耗品費	文具、書籍等の購入に要する経費	主な物品種別ごとに記入【数量×単価】
⑤ 印刷製本費	資料、チラシ、パンフレット等の印刷物の作成に要する経費	目的別（資料、チラシ作成等）に記入【部数×単価】
⑥ 通信運搬費	郵送料、電話料等に関する経費	目的別（切手代、電話代等）に記入 【回数×単価】　【月額×○ケ月】
⑦ 使用料・賃借料	会場借上料、機械・器具・設備等の借料、車両借上料等に要する経費	対象別（会場、機械等の借料等）に記入 【回数×単価】　【月額×○ケ月】
⑧ その他	上記以外の事業の実施に必要な経費	上記以外に必要な経費がある場合に記入

※収支計画書の積算は原則として上記項目の区分に従い記入してください。なお、上記以外の項目が必要な場合は適宜設定してください。この場合、上記の積算の記入方法に準じた記入をお願いします。

※飲食物等の食糧費は対象外ですが、活動に宗像の食材を使う場合などの原材料費は対象となります。　判断が難しい場合などは事前にご相談ください。

※パソコン、タブレット、カメラ等の汎用性の高い備品・機器類の購入は対象としません。
活動にどうしても必要な備品・機器類がある場合は事前にご相談ください。

※イベント等の参加者へ配布するための書籍その他配布を目的とした既製品等の購入は対象としません。

6　審査及び採択事業の決定

（1）提案された事業の採択については、「7　審査のポイント」に基づき、審査します。

（2）審査方法は、原則、書面審査とします。

（3）審査の過程で問い合わせや追加資料の提出を求めることがあります。

（4）事業の採択を決定するにあたり、一部事業内容の見直しを依頼する場合があります。

（5）採択事業の決定区分は、「採択」、「条件付き採択」、「不採択」です。

※提案された事業が優れたものであっても、予算等の都合により、「条件付き採択」、「不採択」となる場合があります。

（6）６月中旬（予定）に、審査結果を通知します。なお、不採択の場合は、その理由を明示します。

（7）審査結果（不採択を含む。）は、市ＨＰなどで公表します。

7　審査のポイント

事業の採択については「審査のポイント」に着目し、採否を決定します。

提案の際は以下の点について検討し、該当する項目があれば提案申請書及び事業計画書に具体的に記入してください。

項目	審査のポイント
①	事業内容が、学校や地域等多くの主体と連携とした取組みとなっている。
②	事業内容が、児童・生徒や地域住民等多くを対象とした取組みとなっている。
③	事業成果が、学校や地域等に広く還元され、波及効果が見込まれる。
④	事業終了後の活動の継続や発展が見込まれる。
⑤	事業内容に市の政策と連携した内容が含まれる。

8　契約の締結、実施（採択された場合）

（1）採択事業提案グループの代表者と市との間で、委託契約を締結します。

（2）契約は、地方自治法の契約に関する条項、宗像市契約事務規則などの関係法令に基づいて行います。特に以下の事項に留意してください。

ア　活動費の支払いは、原則、当該年度での事業終了後に支払う「精算払」とします。なお、事業実施に当たって必要な場合は、事前に活動費の一部を支払う「前金払」も可能です。

イ　事業の全部又は大部分を第三者に委託し、又は請負わせてはいけません。

（3）契約締結後（６月下旬予定)、速やかに事業に着手してください。事業の完了期限は、令和５年３月３１日です。

（4）事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じてください。

（5）やむを得ない理由により期間の途中に事業内容を見直す場合は、事業計画書及び収支計画書の変更が必要です。必ず事前に連絡してください。

（6）事業内容の見直しや中止に伴い契約を変更した場合、活動費の減額（概算払いの場合は返金）が生じる場合があります。

9　成果発表会の開催（予定）

令和５年２～３月頃に、採択事業の成果発表会を予定しています。日時は後日お知らせしますので、資料の作成及びご出席をお願いします。

※事業完了が３月末の場合も、成果発表会までの内容で発表をお願いします。

10　事前相談

募集期間中、提案に当たっての相談を宗像市役所経営企画課で受け付けます。

（Mail：　onemunakata@city.munakata.lg.jp ）

11　スケジュール

期間	手続き
令和４年４月２１日（木） ～ 令和４年　６月６日（月）	提案募集期間
～令和４年６月中旬	書類審査及び採択結果の通知
令和４年６月下旬～	契約の締結及び事業の実施
令和４年１２月（予定）	中間報告書の提出
令和５年２～３月（予定）	成果発表会の開催
～令和５年３月３１日	事業の完了期限

【問い合わせ･提出先】
〒811－3492 宗像市東郷一丁目1番1号
宗像市役所 経営企画部 経営企画課 企画係
TEL：0940－36－1192　FAX：0940－37－1242
Mail：onemunakata@city.munakata.lg.jp

～　参　考　資　料　～

【提案について】

この事業では、地域が抱える課題の解決や活性化を促進するための提案を広く募集します。

教育や健康づくりの分野に限らず、スポーツ、観光、防災、地域の飲食店・特産物の SNS による情報発信等、学生の皆さんのアイデアと活力にあふれた様々な提案をお願いします。

【テーマの設定について】

提案にあたっては、必ず主となるテーマ（教育、健康等）を設定し、キーワード化してください。

次に、市が課題や重点項目として考える内容について、提案への組込みを検討してください。

可能な場合は、副テーマとして設定し、同様にキーワード化してください（#（ハッシュタグ）○○のイメージ）。

副テーマの設定は任意ですが、審査時の加点ポイントとします。

※テーマ設定が難しい場合や、副テーマの設定の相談等ありましたらメール等でご連絡ください。

【例　示】※提案申請書（様式第１号）中「テーマ設定」欄の記入例

	主テーマ	副テーマ
例　１・・・・・	#探職アドベンチャー	#新型コロナ対策 #商工業の振興 #教育環境の充実
例　２・・・・・	#手作りの感染症対策	#新型コロナ対策 #多世代交流 #相互扶助
	必　須	任　意

（主テーマ）指定はありません。上記の例１については記載例をご参考ください。

（副テーマ例）

シティプロモーション、子育て支援、多世代交流、脱炭素、新型コロナウイルス感染症対策、防災（避難所運営等）、世界遺産、環境保全、地産地消、DX（デジタルトランスフォーメーション）、デジタルデバイド対策、高齢化、３R（リデュース、リユース、リサイクル）、食品ロス、女性活躍、LGBTQ、空き家対策、観光、離島、地域産品ブランド化、グローバル人材育成・・・等

※上記のほか予算参考資料等からキーワードの選定・設定可

【予算参考資料】

https://www.city.munakata.lg.jp/w011/050/020/yosan/r04/R4tousyoyosannsannkousiryou2.pdf

【令和３年度提案事業一覧】

（教職員主体グループ）

プロジェクト名	プロジェクトの概要
共生を意識した学校教育の推進者の育成	環境・防災教育について市場調査と意識調査を実施。また『イエナ教育』による言語教育を考案し地島にて実践。
English Fun Fair21	小学生を対象とし、コミュニティ・センターで活動ブースを作り外国人や学生と交流。ゲームをとおして英語でのコミュニケーションの楽しさを体験。

日本語を母語としない児童生徒への学習支援プロジェクト	小中学校での授業のサポートや、授業中の別室個別指導を実施。また、学校との連携マニュアルも作成し、継続体制を整える。
スポーツ競技別における感染症への意識と対策の実態	コロナ感染対策とスポーツ大会・合宿における感染者発生時のマニュアルを基に、競技別に具体的な感染対策を講じる。
大学生によるおなかいっぱいプロジェクト 2021	福教大の生協と連携し、宗像の郷土料理や特産物を使った広報活動やイベントを実施。
コロナ禍における安全教育の質を高める教材づくり「命を守ろうプロジェクト」	命を守る安全教育（食物アレルギー、災害、不審者、熱中症、交通安全など）における、指導の質を高める教材を開発。
小学生～高校生・一般を対象とした「わくわく算数・enjoy 数学」プロジェクト	算数や数学の魅力や楽しさを伝える教材を開発・作成。学校やコミュニティ・センターに配布。
哲学対話で考える深い学びをみんなに	小中学校を中心として、哲学対話の出前授業を実施。哲学対話の普及を目指す。
ICT を活用した不登校児童への学習支援自立支援プロジェクト	ICT 機器を媒体とし、GIGA 局、教育サポート室エール、企業とコラボして、オンライン学習教材の開発や指導法を開発。
経済的に困難な状況に置かれている家庭の子どもたちに対する食とつながり体験による自立支援プロジェクト	対象児童の生活自立支援を図るために、子ども食堂やフードバンク、キャンプでの野外炊飯などの体験学習を開催。
『むなかた子ども大学』をアートの力で盛り上げよう	１１ 月開催の『むなかた子ども大学』とタイアップし、各ブースのテーマに合わせた会場を装飾。大学と協働したまちづくりを実践。
Misson I'mPOSSIBLE「個性を尊重しあえる社会へ」	国際パラリンピック委員会公認教材『 I'mPOSSIBLE』を使い、児童にパラリンピックスポーツを体験。『 I'mPOSSIBLE』のホームページにも投稿し全国発表予定。
日本赤十字九州国際看護大学公開講座「クロスカレッジ 2021」～みんなで取り組むヘルスケア～	地域の健康情報発信拠点として、オンライン及び対面講座を 4 回開催。
地域の伝承芸能や古典的名曲から音楽と歴史と文学を総合的に学ぶ講座	福岡の伝統芸能である筑前琵琶を用いて、音楽と歴史と文学を統合した学習活動。

（学生主体グループ）

プロジェクト名	**プロジェクトの概要**
看 do Munakater Project－宗像の魅力に感動・感じて動いて　元気な宗像人－	看護大生による宗像の特産品を使った健康促進メニューを開発。ストレス解消のための運動やリラックス方法も考案。美味しく楽しく宗像を満喫。
若者と高齢者の全線つながるプロジェクト in 地島	高齢者と宗像の食材を使い料理教室を開催。また地島の高齢者とのレクリエーション（野外ゲーム）などをとおして、お互いの世代を理解し合うきっかけ作りを実施。
『子ども芸術まつり～みんなで屋台を作って祭りを開こう～』	小学生と一緒に、段ボール箱やお菓子の空き箱等を使った美術体験ワークショップを開催。『手づくり屋台の子ども芸術まつり』で発表。
子どもの可能性を引き出す「コーチング」教育について	学校現場におけるコーチングを学び、福教大大学院の実習先で実践。 希望する市内の教員と共有し、教育現場に貢献する学びのプロジェクト。

わくわくラクロス	夏休みと冬休みに、学童保育の子どもたちとキッズラクロスに挑戦。 福岡でも珍しいラクロスの楽しさを体感。
地域の方々とつくるアート活動	コロナ禍で遊び場が減り、エネルギーを持て余している子ども達のために、地域住民も参加して日の里団地でウォールアートを作成。
読みの困難さがある子供たちに対するプロジェクト	読みの困難さがある子供たちに対し「カラーバールーペ」などのツールを紹介。一人でも多くの生徒が、自分の個性にあった学びを習得できるようサポートする学びのプロジェクト。
灯篭を作って宗像の町を彩ろう！	小中高生を対象に、牛乳パックを活用して灯篭・ランプシェードを制作。 赤間宿に展示して、柔らかい光で彩られた街を散策。
福岡教育大学中等音楽科学生による「音楽イベント」の開催	ひのさと 48 を舞台にした音楽イベントを開催。 音楽をとおして様々な世代との交流を楽しむことで、住みやすいまち作りを目指す。
働く女性、子育て世代のウーマンライフ・ヨガ教室	働く女性や子育て世代を対象としたヨガ教室を開催し、若い世代の交流の場を提供。女性が自分らしく活躍できるまちを目指して、ひのさと 48 で有意義な時間を過ごす。
子ども達へ伝統や文化を伝える活動【作品展示とワークショップ】の開催	九州・中国・四国唯一の書道学科による書道の体験プロジェクト。映画『書道ガールズ』のモデルとなった教授の下で、全国的に活躍するメンバーが書道の素晴らしさを発信。
200m 竹流しそうめん	宗像の食材を用いて、なんと 200m の巨大流しそうめん祭りに挑戦。 大学生と地域住民の交流を図ることで竹害対策にも貢献し、SDGs にも取り組む。

※事業内容は一部変更あり

【その他提案事業の例】

学校授業における課題抽出・改善策の提案	ふくおか健康ポイントアプリの普及・啓発活動
妊婦さんや子育て中の方の買い物サポート	地域と連携した認知症の方の見守り活動・啓発等
若い世代の投票率向上に向けた活動	災害時の避難所等における感染症予防指導
商店街の活性化に向けたイベントの開催	子ども達へのスポーツ、文化、芸術教室等の開催
飲食店などでの外国語対応メニューの作成	地域のお祭りなどの伝統行事の継続支援
SNS 等の活用による情報発信	各種イベントへの企画提案と運営支援

【参考 HP】宗像市公式ホームページ（令和３年度　大学生による『まちの課題解決プロジェクト』）

http://www.city.munakata.lg.jp/w009/onemunakata.html

【SDGs17 のゴール】

【活動時の注意事項】

1　市内小中学校等との調整について

市内の小・中学校又は学童保育所を対象に活動する場合、お手数ですがメールにより以下の内容をご連絡ください。

（1）小・中学校等と調整済の場合

学校名（学童名）及び学校（学童）の窓口の方の氏名及び連絡先

（2）小・中学校等と未調整の場合

これから調整を予定している①学校名（学童名）、②学年、③活動内容、④教育委員会による仲介の必要の有無等

2　市役所関係課、市公共施設又は地域コミュニティとの調整について

調整が必要な場合は、お手数ですがメールにより宗像市経営企画課に連絡をお願いします。

3　市の SNS 等による活動の情報発信について

イベントや講座の開催の情報発信の一つとして、市の SNS（フェイスブック及びライン）への掲載を希望する場合は、メールによりイベントの概要やチラシデータの提供をお願いします。

4　活動の記録について

成果発表の場や市による情報発信に活用させていただくため、活動の際の写真や映像は、なるべく多く残してください。

5　保険について

活動中の事故によるけが等について、大学が加入する保険「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」等が適用される場合があります。詳しくは大学の窓口にあらかじめお問い合わせください。

【よくある質問】

1　パソコンやタブレットの購入はできますか？

→上記のほかプリンターやカメラ等汎用性の高い備品・機器類の購入は対象経費となりません。お手持ちの備品・機器類で対応可能な活動を実施してください。

2　宗像市の特産品や食材に関する事業を計画しています。 飲食に係る食糧費は対象外経費となっていますが、この場合も対象外になるのでしょうか？

→対象となります。食糧費とは、例えばグループでの食事会や打ち上げなどの飲食に関連する経費です。よって、宗像の特産品や食材を広めるために購入する食材等の経費は食糧費には該当し

ません。支出項目としては『その他』で計上し、どのような物を購入するのか記入してください。

3　パンフレットや広告類を作成する予定です。完成したものを駅構内（赤間・東郷）や市公共施設、宗像市のホームページに掲載することは可能でしょうか？

→可能です。事前にメールによりご連絡ください。

4　活動費の前払いはできますか？

→原則として活動終了後の精算払いですが、必要に応じて前払いが可能です。契約手続きの際にご案内します。

5　プロジェクト完了後、事業報告書への領収書の添付や精算処理は必要ですか？

→領収書の提出は不要ですが、適正な資金管理のため、必要に応じて領収書を取得し各グループ内で保管及び管理してください。

事業計画の変更等に伴い当初予定していた経費が不要となった場合は、精算処理が必要です。活動費の減額（前払い済の場合は返金）が生じることがあります。

6　やむを得ない事情により活動内容が変更となり、事業計画や収支計画書の内容に変更が生じる場合、どうすれば良いのでしょうか？

→イベントが中止になった、パンフレットを作成しなくなった等当初予定していた実施内容に大きな変更が生じた場合、あらかじめ事業計画書及び収支計画書の提出による変更手続きが必要です。また、変更に伴い活動費の減額（前払い済の場合は返金）が生じることがあります。ただし、消耗品の購入金額・数量の変更等、事業計画書の活動内容に影響を与えない軽微な変更の場合は手続きが不要です。

いずれの場合も、まずはメール等にてご相談ください。